

SS 課題研究 分野別発表会 相互評価票				学年	① ②
組番	年	組	番	組	① ②
氏名				組十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
				組一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

会場で回収
[おもて]

会場番号	① ② ③ ④ ⑤	発表題	必ず記入してください	当てはまる	当てはまらない
発表番号	① ② ③ ④				
課題設定	対象の決定	一般によく知られている事象、あるいは身近に関わりのある事象である。		①	②
		社会的または学術的な課題と関連している。		①	②
		安全性や倫理面において、十分に配慮されている。		①	②
		定量的に取り扱うことができ、かつ繰り返し検証が可能なものを対象としている。		①	②
	先行研究調べ	先行研究を英語論文も含め、もれなく調べている。継続研究の場合は、過去に行われたことを適切に先行研究として扱っている。		①	②
	対象の観察	対象を観察し、必要な情報を抽出・整理することができる。		①	②
		抽出・整理した情報について、それらの関係性（共通点や相違点、因果関係など）や傾向を見出すことができる。		①	②
目的設定	社会的または学術的な課題と関連させて、明らかにすべきことを明確に目的として設定している。		①	②	
仮説設定	設定した目的に対応させて、検証可能な仮説を設定している。（実験系の立ち上げの段階では無理に仮説を設定する必要はない）		①	②	
課題設定	材料と方法の検討	目的に応じて、適切な材料と方法を根拠をもって選択している。		①	②
		材料や方法について、合理性のある工夫や手法（実験区分等）が検討されている。		①	②
課題解決	条件制御	材料の状態や測定方法に関わる条件を適切に制御している。		①	②
	結果整理	実験結果が統計的に処理されている。		①	②
		数値をグラフまたは表を適切に選択し、かつ効果的に用いている。		①	②
		用いたグラフや表について、軸のスケール、線の種類、単位、有効数字などの体裁が整えられている。		①	②
	考察	得られた結果のみから、考えられる解釈をしている。（飛躍していない。）		①	②
先行研究と対比させ、論理的に関係性を説明している。		①	②		
先行研究と対比させながら、論理的に新しい仮説まで導いている。		①	②		
総合実践	口頭発表	周囲の環境に合わせて適切な声の大きさで、説明の内容を十分に聞き取ることができる。		①	②
	プレゼンファイル作成	目的、材料と方法、結果と考察に一貫性がある（矛盾が無い）。		①	②
一枚のスライドに載せる情報量には配慮があり、聴衆の短期記憶に配慮したスライドを構成している。		①	②		
総合実践 課題設定	ディスカッション	質問の意図を適切に理解し、根拠をもった回答をしている。		①	②
		質問者に一定の配慮を示しながら、相互に対象についての議論を深めようとしている。		①	②

会場番号	① ② ③ ④ ⑤	発表題	必ず記入してください	当てはまる	当てはまらない
発表番号	① ② ③ ④				
課題設定	対象の決定	一般によく知られている事象、あるいは身近に関わりのある事象である。		①	②
		社会的または学術的な課題と関連している。		①	②
		安全性や倫理面において、十分に配慮されている。		①	②
		定量的に取り扱うことができ、かつ繰り返し検証が可能なものを対象としている。		①	②
	先行研究調べ	先行研究を英語論文も含め、もれなく調べている。継続研究の場合は、過去に行われたことを適切に先行研究として扱っている。		①	②
	対象の観察	対象を観察し、必要な情報を抽出・整理することができる。		①	②
		抽出・整理した情報について、それらの関係性（共通点や相違点、因果関係など）や傾向を見出すことができる。		①	②
目的設定	社会的または学術的な課題と関連させて、明らかにすべきことを明確に目的として設定している。		①	②	
仮説設定	設定した目的に対応させて、検証可能な仮説を設定している。（実験系の立ち上げの段階では無理に仮説を設定する必要はない）		①	②	
課題設定	材料と方法の検討	目的に応じて、適切な材料と方法を根拠をもって選択している。		①	②
		材料や方法について、合理性のある工夫や手法（実験区分等）が検討されている。		①	②
課題解決	条件制御	材料の状態や測定方法に関わる条件を適切に制御している。		①	②
	結果整理	実験結果が統計的に処理されている。		①	②
		数値をグラフまたは表を適切に選択し、かつ効果的に用いている。		①	②
		用いたグラフや表について、軸のスケール、線の種類、単位、有効数字などの体裁が整えられている。		①	②
	考察	得られた結果のみから、考えられる解釈をしている。（飛躍していない。）		①	②
先行研究と対比させ、論理的に関係性を説明している。		①	②		
先行研究と対比させながら、論理的に新しい仮説まで導いている。		①	②		
総合実践	口頭発表	周囲の環境に合わせて適切な声の大きさで、説明の内容を十分に聞き取ることができる。		①	②
	プレゼンファイル作成	目的、材料と方法、結果と考察に一貫性がある（矛盾が無い）。		①	②
一枚のスライドに載せる情報量には配慮があり、聴衆の短期記憶に配慮したスライドを構成している。		①	②		
総合実践 課題設定	ディスカッション	質問の意図を適切に理解し、根拠をもった回答をしている。		①	②
		質問者に一定の配慮を示しながら、相互に対象についての議論を深めようとしている。		①	②

SS 課題研究 分野別発表会 相互評価票				学年	① ②
組番	年	組	番	組	① ②
氏名				組十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
				組一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

会場で回収
[うら]

会場番号	① ② ③ ④ ⑤	発表題	必ず記入してください	当てはまる	当てはまらない
発表番号	① ② ③ ④				
課題設定	対象の決定	一般によく知られている事象、あるいは身近に関わりのある事象である。		①	②
		社会的または学術的な課題と関連している。		①	②
		安全性や倫理面において、十分に配慮されている。		①	②
		定量的に取り扱うことができ、かつ繰り返し検証が可能なものを対象としている。		①	②
	先行研究調べ	先行研究を英語論文も含め、もれなく調べている。継続研究の場合は、過去に行われたことを適切に先行研究として扱っている。		①	②
	対象の観察	対象を観察し、必要な情報を抽出・整理することができる。		①	②
		抽出・整理した情報について、それらの関係性（共通点や相違点、因果関係など）や傾向を見出すことができる。		①	②
目的設定	社会的または学術的な課題と関連させて、明らかにすべきことを明確に目的として設定している。		①	②	
仮説設定	設定した目的に対応させて、検証可能な仮説を設定している。（実験系の立ち上げの段階では無理に仮説を設定する必要はない）		①	②	
課題設定	材料と方法の検討	目的に応じて、適切な材料と方法を根拠に基づいて選択している。		①	②
		材料や方法について、合理性のある工夫や手法（実験区分等）が検討されている。		①	②
課題解決	条件制御	材料の状態や測定方法に関わる条件を適切に制御している。		①	②
	結果整理	実験結果が統計的に処理されている。		①	②
		数値をグラフまたは表を適切に選択し、かつ効果的に用いている。		①	②
		用いたグラフや表について、軸のスケール、線の種類、単位、有効数字などの体裁が整えられている。		①	②
	考察	得られた結果のみから、考えられる解釈をしている。（飛躍していない。）		①	②
先行研究と対比させ、論理的に関係性を説明している。		①	②		
先行研究と対比させながら、論理的に新しい仮説まで導いている。		①	②		
総合実践	口頭発表	周囲の環境に合わせて適切な声の大きさを、説明の内容を十分に聞き取ることができる。		①	②
	プレゼンファイル作成	目的、材料と方法、結果と考察に一貫性がある（矛盾が無い）。		①	②
		一枚のスライドに載せる情報量には配慮があり、聴衆の短期記憶に配慮したスライドを構成している。		①	②
総合実践 課題設定	ディスカッション	質問の意図を適切に理解し、根拠をもった回答をしている。		①	②
		質問者に一定の配慮を示しながら、相互に対象についての議論を深めようとしている。		①	②

会場番号	① ② ③ ④ ⑤	発表題	必ず記入してください	当てはまる	当てはまらない
発表番号	① ② ③ ④				
課題設定	対象の決定	一般によく知られている事象、あるいは身近に関わりのある事象である。		①	②
		社会的または学術的な課題と関連している。		①	②
		安全性や倫理面において、十分に配慮されている。		①	②
		定量的に取り扱うことができ、かつ繰り返し検証が可能なものを対象としている。		①	②
	先行研究調べ	先行研究を英語論文も含め、もれなく調べている。継続研究の場合は、過去に行われたことを適切に先行研究として扱っている。		①	②
	対象の観察	対象を観察し、必要な情報を抽出・整理することができる。		①	②
		抽出・整理した情報について、それらの関係性（共通点や相違点、因果関係など）や傾向を見出すことができる。		①	②
目的設定	社会的または学術的な課題と関連させて、明らかにすべきことを明確に目的として設定している。		①	②	
仮説設定	設定した目的に対応させて、検証可能な仮説を設定している。（実験系の立ち上げの段階では無理に仮説を設定する必要はない）		①	②	
課題設定	材料と方法の検討	目的に応じて、適切な材料と方法を根拠に基づいて選択している。		①	②
		材料や方法について、合理性のある工夫や手法（実験区分等）が検討されている。		①	②
課題解決	条件制御	材料の状態や測定方法に関わる条件を適切に制御している。		①	②
	結果整理	実験結果が統計的に処理されている。		①	②
		数値をグラフまたは表を適切に選択し、かつ効果的に用いている。		①	②
		用いたグラフや表について、軸のスケール、線の種類、単位、有効数字などの体裁が整えられている。		①	②
	考察	得られた結果のみから、考えられる解釈をしている。（飛躍していない。）		①	②
先行研究と対比させ、論理的に関係性を説明している。		①	②		
先行研究と対比させながら、論理的に新しい仮説まで導いている。		①	②		
総合実践	口頭発表	周囲の環境に合わせて適切な声の大きさを、説明の内容を十分に聞き取ることができる。		①	②
	プレゼンファイル作成	目的、材料と方法、結果と考察に一貫性がある（矛盾が無い）。		①	②
		一枚のスライドに載せる情報量には配慮があり、聴衆の短期記憶に配慮したスライドを構成している。		①	②
総合実践 課題設定	ディスカッション	質問の意図を適切に理解し、根拠をもった回答をしている。		①	②
		質問者に一定の配慮を示しながら、相互に対象についての議論を深めようとしている。		①	②